



新年明けましておめでとうございます

旧年中はお世話になり、誠にありがとうございました
本年も一層のサービス向上を目指し、頑張ってまいります
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます

昨年は東日本大震災もあり、大変な年でした。当たり前とっていた日々の仕事や生活を振り返り、大切にしていこうと改めて考えさせられました。

本年がよりよい年になりますよう、研修や様々な事業を通して皆様のお役にたてればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



★研修現場レポート★

認知症ケアコース応用 センター方式 事例検討会



会場：練馬区役所本庁舎 20階交流会場

参加者：25名

ファシリテーター：10名

ファシリテーターとは...
議論に対して中立な立場を保ちながら、活発な意見交換や深い議論がなされるよう調整する役割を担う人。

1 どんな研修？

様々な分野で働く職員が集まり、事業所から出された「対応に苦慮している事例」について、「センター方式をツールとして5名のグループに分かれて事例検討を行います。

研修は全6回で、4回の実例検討と、2回の報告会で構成されます。報告会では、事例検討の中で出された意見を持ち帰り、実践した結果の報告を行います。

知らない事業所の事例を客観的に見て意見交換することで、様々な可能性を考えることができます。異なる現場で働く職員の意見で、自分に欠けている視点に気づかされたり、自分の事業所に照らして考えたり...と、たくさん考えて、たくさん話す、活気ある研修です。

「『センター方式』という言葉は聞いたことがあるけれど、作成が大変そうで...」という方は多いのではないのでしょうか。今回は研修センターの応用編の研修をご紹介します。ご希望の方は見学もできますので、お気軽にお問い合わせください。

2 研修の流れ

(下記事例等は抜粋になります。)
それぞれ、センター方式のシートに沿って行われました。

事例概要説明 事例報告者より
「何をすればいいですか」「町に帰りたい」と発言があるお客様。人形をあやすことが好き。入浴がお好きで笑顔が見られる。夜間帯に不安な様子が見られる時がある。 などなど

質問 受講者より

- ・日中の様子や趣味活動は？
- ・夜間帯不安になった日の日中の様子は？
- ・食事排泄のリズムは？
- ・職員とゆっくり話す時間は？
- ・浴室と普段過ごす場所の距離は？ などなど

各グループでの検討・発表

ご本人が困っていること

- ・何をしたいのかわからない
- ・関わりが薄く、役割が少ないのでは
- ・生活の中での楽しみや生きがいが少ないのではないかと などなど
- よりよく暮らせる為のアイデア**
- ・なじみの関係づくりの支援を行う
- ・アセスメントし、役割を持ってもらえる場面をケアプランに盛り込む (料理作りやレク活動など)
- ・食事排泄のリズムを把握する
- ・自宅を感じる居室作りに取り組む
- ・好きな人形の洋服を一緒に作ってはどうか などなど

ファシリテーターのコメント 再検討・発表

- ・「認知症の人」として決めつけず、きちんとアセスメントすれば、ご本人は自分のことを伝える力を持っているのではないかと。もっとご本人から話を聞いてはどうか などなど

事例提供者の感想

- ・気づけなかった視点をもらうことができた。施設に戻って取り組んでみたい。 などなど

まとめ

3 参加者のコメントより

他グループの発表を聞き、シートの活用方法やケアのアイデアの導き方など良く分かりました。シートの記入だけにこだわらず、お客様を良く見てできるところからやっていけばいいんだと少し気持ちが軽くなりました。

見学にきませんか？！

センター方式は、チームとして前向きにご本人の声を拾い、その人らしい生活を考える、実現する為のツールです。「どんなものか知りたい」という方や「使っているけれどうまく行かない」という方、この機会に見学にいらっしやいませんか？ご希望の方は
お気軽にセンターまでご連絡ください

第2回「研修現場レポート」の研修は現在検討中です。「この研修の様子が知りたい！」というご意見がございましたら、センターまでお寄せください。

うがい手洗いに協力ください！



研修会場では狭い空間に多くの方が集まるため、研修前うがいと手洗いをお願いしています。ご協力をお願いします。

日	月	火	水	木	金	土	
… 2月の研修予定 …				1	2	3	4
				13:00-17:00 介護技術入門 (市川氏)			
				18:30-20:30 皆様と研修センター職員の懇談会			
5	6	7	8	9	10	11	
10:00-12:00 練馬区の障害者 福祉サービス施策	18:30-20:40 【講演会】落語に 学ぶ笑いのちから			13:30-15:30 転換期をむかえる 終末期医療(胃ろ うを考える) 【施設分科会 リクエスト研修】	18:00-20:30 介護予防		
		練馬文化センター 小ホール 予約不要 18:00 開場					
12	13	14	15	16	17	18	
13:00-17:00 介護現場の接遇			13:30-17:00 福祉用具援助計画 書の書き方				
			18:30-20:30 センター方式事例 検討会	18:00-20:30 クレーム対応 訪問			
19	20	21	22	23	24	25	
14:00-17:00 リスクマネジメント 2(施設編)	13:30-17:00 スーパービジョン 応用		13:30-16:30 ターミナルケア と死生観				
26	27	28	29	1	2	3	
			13:30-17:30 環境づくり				

研修のお申込
開始日は、前の月
の10日からで
す。

各研修は、研修
日の前日の12
時まで、システム
からお申込みい
ただくことがで
きます。

研修のキャン
セルは、システム
の都合上3日前
までです。その後
の変更はお電話
でお願いします。

2月16日に
予定されていた
スキンケア入門編
は講師都合により
中止となりました。

研修・クローズアップ

「自分にとってどれが役に立つ研修がよくわからない」というご意見をいただきます。

そこで、センターからお勧めの研修をご紹介します。申し込みシステムでは研修のねらいと内容もご確認いただけますのでご参照ください。

- ### 施設で働く方にオススメ!
- 2/2 介護技術入門
 - 2/13 介護現場の接遇
 - 2/20 リスクマネジメント2施設編
 - 2/22 ターミナルケアと死生観
 - 3/16 チーム介護を活性化させる
コミュニケーションスキル

- ### 在宅分野で働く オススメ!
- 2/2 介護技術入門
 - 2/13 介護現場の接遇
 - 2/22 ターミナルケアと死生観

- ### リーダー層・ 管理職の方にオススメ!
- 2/16 クレーム対応 訪問
 - 2/20 リスクマネジメント2施設編
 - 3/6 部下育成
 - 3/22 非常災害時の対応
 - 3/28 スーパービジョンの
理論と展開

「こんな研修をやってほしい!」
「研修について知りたい」などなど
皆様のお声をお寄せ下さい。

「皆様と研修センター職員の
懇談会」
2月2日(木)18:30-20:30
地下多目的会議室
皆様のお越しを
お待ちしております



みなさまにオススメ!

平成24年2月7日(火)

18時30分から20時40分、練馬文化センターで講演会を実施します。

「落語に学ぶ笑いのちから」というタイトルで「ねりまで介護をがんばる皆様」を対象としていますので、他事業所のお知り合いや介護をされているご家族様へもお知らせいただければ幸いです。

ポスターはホームページからダウンロードできます。

皆様のお越しをお待ちしています。



2月2日(木)

介護技術入門

福祉技術研究所 市川 洌氏

手を首にまわしてもらい、脚の間に膝を入れて、「いちにのさん！」
こんな場面はまだたくさんあるのではないのでしょうか。お客様と職員双方にとって安心・安全で無理のない技術をもう一度考えませんか？

内容

- ・移乗とは？（考え方の整理）
- ・無理に立位をとらせない移乗
- ・福祉用具を利用し、利用者の能力を生かした移乗技術
- ・介助者の体を痛めない移乗技術

前回参加者のコメントより

- ・実技がとても分かりやすく、即、現場で活用できそうです。
- ・単純な福祉用具（シート・ボード）に素晴らしい機能があることを知りびっくりしました。実践できるようセンターで相談したいと思います。



2月13日(月)

介護現場の接遇

～対人援助職に求められるマナーとスキル～
NPO 法人 ライフキャリア総合研究所
理事長 栗原 知女氏

介護現場だからこそ必要なマナーとスキルは浸透していますか？

内容

- 1) 介護における「接遇」の基本（敬語の使い方とマナー、基本精神）
- 2) 対人援助の場面における関係構築のスキル(バイステックの7原則)
- 3) 傾聴・受容・共感のワーク
- 4) 3つの「きく」の違いのワーク
- 5) コミュニケーション困難事例への対応

前回参加者のコメントより

- ・現場で間違った対応をしていたことに気づきました。
- ・忘れていたことの再確認ができました。
- ・とても楽しく分かりやすい研修でした。

3月6日(火)

部下育成

日本化薬メディカルケア株式会社
代表取締役 宮野 茂氏

部下の育成に全く悩みがないという人は少ないのではないのでしょうか。

部下育成に当たり、部下とのコミュニケーションの善し悪しが全ての基礎となります。

部下とのコミュニケーションの取り方、上司に求められるコミュニケーションスキルを学び、自分自身を振り返ってみませんか？

昨年度参加者のコメントより

- ・部下とのコミュニケーションツールとして多に活用させていただきたいと思う。
- ・とてもスムーズに沢山の意見交換ができるイメージを持つことができた。明日から活用したい。

日	月	火	水	木	金	土
… 3月の研修予定 …						
4	5	6	7	8	9	10
		09:30-12:30 部下育成	18:30-20:30 センター方式事例 検討会			
11	12	13	14	15	16	17
		13:30-17:00 スーパービジョン 応用			18:30-20:30 チーム介護を活性化 させるコミュニケーション スキル 【地域密着 リクエスト研修】	
18	19	20	21	22	23	24
				15:15-16:45 「東日本大震災・ 災害支援の現場か ら～介護現場の実情と これから」		
25	26	27	28	29	30	31
			10:00-16:30 スーパービジョン 【ケアマネジャー リクエスト研修】			

「にやりほっと」募集中

「ひやりはっと」の反対の

「にやりほっと」。

お客様の近くで働くからわかる、にやりとしたり、ほっとしたりするストーリーをぜひお寄せください。



チキンでスキップ

離れて暮らす 80 代の父は、とても元気です。

糖尿病がありますがインシュリンも自己管理しています。そんな父がクリスマスに我が家にやってきました。どうしても食べたいという要望で、チキンを予約しておいたら、「一番大きいパックではない！」ことがご不満だったらしく、若干すね気味。CMのように、クリスマスの日に大きなチキンのパックを持って街を歩いてみたかったようです。その発想の若さに改めてびっくり。

しっかりものの父が、帰るときに大切なインシュリンの管理手帳を忘れて行きました。急いで電話をすると、驚く様子もなく「今度来るときに持ってきて」とのこと。これは確信犯では…。まあ、元気でなによりです。(センター職員 S より)

みなさまの事業所をご紹介します！

応募内容はコチラ



研修センターNEWSの中で、ご登録いただいているみなさまの事業所をご紹介します。

受講して楽しかった研修や、その後の活用事例などもお寄せいただくと嬉しいです。

このニュースは区内の介護サービス事業所の75% (9月15日現在)となる登録事業所に配布しています。事業所PRの欄は、事業所の特色やデイサービスの空き状況など、ご自由に活用いただければと思います。



沢山のご応募をお待ちしています。

応募は、左のフォーマットに直接書き込んでいただくか、同じフォーマットがホームページにありますので、そちらをダウンロードして記入してください。

センターへは、研修時に手渡しでも、メールでもファクスでも、お好きな方法でお届けください。受け取りましたら、一度担当からご連絡いたします。

1. 事業所名 (担当者名)

[]

2. サービス区分

特養・老健・有料・グループホーム・小規模多機能・通所介護
居宅・訪問介護・訪問入浴・その他 ()

3. 今までに受けた研修。お勤めの研修 (その理由)。

[]

4. 研修活用事例 (下記のようなことがあれば教えてください)

- ・事業所内で研修に行く人をどうやって決めているか
- ・研修の報告書や報告会がある場合どういった方法で行っているか
- ・研修を受けて実際にサービス手法や事業所中のルールを変えたり、スタッフの取り組みがかわったという例

[]



5. 事業所PR (事業所の特色や、デイの空き状況などご自由に活用ください)

[]

詳細・最新情報は・・・ホームページでご確認ください！

<http://www.nerima-swf.jp/training/index.html>

練馬介護人材育成・研修センターの情報は、ホームページで確認することができます。研修情報など随時更新しています。

また、メール (kensyu-center@nerima-swf.jp) でのご意見・お問い合わせもお待ちしています。



社会福祉法人 練馬区社会福祉事業団 練馬介護人材育成・研修センター

